

平成 28 年度 シラバス

1	名 称	森であそんでみよう ―キット森のようちえんへの参加―				
2	計 画 者	所属	郡山女子大学短期大学部 幼児教育学科	職名	講師	
		氏名	柴田 卓			
3	協力する教員	①	所属	福島大学 人間発達文化学類	職名	教授
			氏名	白石 昌子		
		②	所属	桜の聖母短期大学	職名	調整中
			氏名	調整中		
4	対象となる学生	学 年	制限なし			
		専攻分野等	保育者・小学校教諭希望者			
5	目的とねらい	ねらいは、幼少期の子どもの自然体験活動の実際を知り、その中で、子どもがどのように成長するのかを実感すること、及び、学生自身が森での自然体験活動を体験することで、保育者（教育者）としての成長の幅を広げることである。そのためには継続的に子どもと関わる必要があり、活動内容は「キット森のようちえん」の活動に1年間を通して継続的に参加することになる。				
6	具体的な計画	実施時期	内 容			
		第1回 6月	現地での事前講習及び川原子ダム周辺の探索ハイキング			
		第2回 7月	沢登り予定			
		第3回 8月	2泊3日のキャンプ「チャレンジキャンプ」			
		第4回 9月	カヌー体験			
		第5回 11月	ネイチャークラフト			
7	内容と期待される学修成果	基本的な姿勢	第1回にて、キットの理念、リスクマネジメント講習受講	キットの子ども観と関わり方について理解する。活動エリアを理解する。毎回のふりかえりで自身の体験や疑問を整理する。	Step 4	
		課題探究力	第1回ハイキング 第2回沢登りにおいて自然の魅力・子どもの様子を深く観察する。	子どもの目線で自然を理解する。自然の中で子どもの興味・関心や言動・行動を探求し、子どもの変化・成長を理解する。	4	
		課題解決力	第3回チャレンジキャンプにおいて、グループリーダーを担う。	自然の教育力を活かした子どもの関わり方、リスクマネジメント等について理解し、実践する。	4	
		情報受信力 情報発信力	毎活動時とふりかえりで積極的にコミュニケーションをとる。	積極的に教員、保育士を目指す他大学の学生やスタッフとの意見交換をする。	4	
		つなぐ力 導く力	毎回の活動を通して、自身の自然に対する意識を高く持つ	自然の中で自分自身が心地よく、遊べるようになり、自然を活用した保育・教育の意義を理解する。	4	
		目指す学修成果	<p style="text-align: center;">基本的な姿勢 6 5 4 3 2 1 0</p> <p style="text-align: center;">導く力 課題探究力</p> <p style="text-align: center;">つなぐ力 課題解決力</p> <p style="text-align: center;">情報発信力 情報受信力</p>			

8	関連する科目	【福島大学】 幼児発達心理学、幼児の環境と保育、教育発達心理学、人間発達の基礎、幼児の健康と保育、 【郡山女子大学短期大学部】 人間と健康、生活と環境、子どもの保健、保育の心理学など
---	--------	--